



3 生年月日 年 月 日  
 4 電話番号 』  
 「(1) 本籍地  
 (2) 住所  
 (3) 氏名 を  
 (4) 生年月日 年 月 日  
 (5) 職業 』  
 「(1) 住所 〒  
  
 (2) 氏名  
 (3) 生年月日 年 月 日 に改め、同様式末尾欄外に注として次のよう  
 (4) 申請者との関係  
 (5) 職業  
 (6) 電話番号 』

に加える。  
 注 申請者の住民票（本籍が記載されているもの）の写し又は戸籍謄本を添付すること。

別記第1号様式の2中 「本籍地  
 住所  
 本人との関係  
 氏名 ㊟」

「住所  
 本人との関係 ㊟ に改め、同様式末尾欄外に注として次のように加え  
 氏名 ㊟」

る。  
 注 該当する卒業後の職種及び就業する施設の項目に○をつけること。

別記第2号様式（表）中  
 「

本籍地	
現住所	

」

を  
 「

現住所	
-----	--

」

に改める。

別記第3号様式中  
 「 修学資金借用証書

次のとおり借用しました。 を  
 」

「 修学資金借用証書  
 次のとおり借用しました。 収入紙 に、  
 」

「借受者 住所 〒  
 「借受者住所  
 氏名 ㊟ を 氏名 ㊟ に  
 保証人住所 〒 保証人 住所 〒  
 氏名 ㊟」

改める。

別記第4号様式中 「住所  
 氏名 ㊟ を  
 生年月日 年 月 日」

「住所 〒  
 氏名 ㊟ に、  
 生年月日 年 月 日  
 電話番号 』

「種別 』を

「種別 分割払い（毎月）・分割払い（半年）・一括払い 』に、

「備考 』を 「償還理由 』に改め、同様式末尾欄外に注として次のように加

える。

注 1 借受時以降に改姓した場合は、（ ）書きで旧姓を記載すること。  
 2 償還方法の種別欄は、いずれかを○で囲むこと。

「住所

別記第5号様式中 氏名 を  
年月日

「住所 〒

氏名 に改め、同様式末尾欄外に注として次のように加  
生年月日 年月日  
電話番号

える。

注 借受時以降に改姓した場合は、( )書きで旧姓を記載すること。

別記第6号様式中 「住所  
氏名 ④」を

「住所 〒

氏名 ④ に改め、同様式末尾欄外に注として次のように加  
生年月日 年月日  
電話番号

える。

注 借受時以降に改姓した場合は、( )書きで旧姓を記載すること。

「申請者 本籍

別記第7号様式中 住所  
氏名 ④ を  
年月日

「申請者 住所 〒

氏名 ④ に、  
生年月日 年月日  
電話番号

「4 添付書類（申請の理由を証明する書類）」を

「4 添付書類（申請の理由を証明する書類）」を

に改める。

注 借受時以降に改姓した場合は、( )書きで旧姓を記載すること。」

別記第7号様式の2中 「申請者 住所  
氏名 ④」を

「申請者 住所 〒

氏名 ④ に改め、同様式末尾欄外に注として次の  
生年月日 年月日  
電話番号

ように加える。

注 借受時以降に改姓した場合は、( )書きで旧姓を記載すること。

「申請者 本籍

別記第8号様式中 住所  
氏名 ④ を  
年月日

「申請者 住所 〒

氏名 ④ に、  
生年月日 年月日  
電話番号

「4 添付書類（申請の理由を証明する書類）」を

「4 添付書類（申請の理由を証明する書類）」を

に改める。

注 借受時以降に改姓した場合は、( )書きで旧姓を記載すること。」

(北海道看護職員養成修学資金貸付条例施行規則の一部改正)

**第2条** 北海道看護職員養成修学資金貸付条例施行規則（昭和38年北海道規則第143号）の  
一部を次のように改正する。

附則第3項中「第30条の4第2項第12号」を「第30条の4第2項第14号」に改める。

別記第1号様式中

「1 本籍地  
2 住所  
3 氏名  
4 生年月日 年月日」

「1 住所 〒

2 氏名 に、  
3 生年月日 年月日  
4 電話番号

「(1) 本籍地

(2) 住所

(3) 氏名 を

(4) 生年月日 年 月 日  
 (5) 職業 』  
 「(1) 住所 〒  
 (2) 氏名  
 (3) 生年月日 年 月 日 に改め、  
 (4) 申請者との関係  
 (5) 職業  
 (6) 電話番号 』

同様式末尾欄外に注として次のように加える。

- 注 1 該当する職種等を○で囲むこと。  
 2 申請者の住民票（本籍が記載されているもの）の写し又は戸籍謄本を添付すること。

別記第1号様式の2中 「連帯保証人 本籍地 住所」を「連帯保証人 住所」に改め、同様式末尾欄外に注として次のように加える。

注 該当する職種等を○で囲むこと。

別記第2号様式中1の事項を削り、2の事項を1の事項とし、3の事項から11の事項までを1事項ずつ繰り上げ、同様式末尾欄外注1の事項中「9欄」を「8欄」に改め、同注2の事項中「10欄」を「9欄」に改め、同注3の事項中「5欄、9欄及び10欄」を「4欄、8欄及び9欄」に改める。

別記第3号様式中

「 修学資金借用証書 を 次のとおり借用しました。 」

「 修学資金借用証書 収入紙 に、 次のとおり借用しました。 」

「住所 」を「住所 〒」に改める。  
 「住所

別記第4号様式中 氏名 ⑩ を

生年月日 年 月 日 』  
 「住所 〒  
 氏名 ⑩ に、  
 生年月日 年 月 日  
 電話番号 』  
 「 種別 』を  
 「 種別 分割払い（毎月）・分割払い（半年）・一括払い 』に、  
 「 備考 』を 「 返還理由 』に改め、同様式末尾欄外に注として次のように加える。

- 注 1 借受時以降に改姓した場合は、（ ）書きで旧姓を記載すること。  
 2 返還方法の種別欄は、いずれかを○で囲むこと。

「住所 〒  
 別記第5号様式中 氏名 ⑩ を  
 生年月日 年 月 日 』  
 「住所 〒  
 氏名 ⑩ に、  
 生年月日 年 月 日  
 電話番号 』  
 「 種別 』を  
 「

種 別 分割払い（毎月）・分割払い（半年）・一括払い に改め、同様

式末尾欄外に注として次のように加える。

- 注 1 借受時以降に改姓した場合は、（ ）書きで旧姓を記載すること。  
2 返還方法の種別欄は、いずれかを○で囲むこと。

「住 所

別記第6号様式中 氏 名 ㊦ を

生年月日 年 月 日 」

「住 所 〒

氏 名 ㊦ に改め、同様式末尾欄外に注として次のように  
生年月日 年 月 日  
電話番号 」

加える。

- 注 借受時以降に改姓した場合は、（ ）書きで旧姓を記載すること。

「住 所

別記第7号様式中 を

氏 名 ㊦」

「住 所 〒

氏 名 ㊦ に改め、同様式末尾欄外に注として次のように  
生年月日 年 月 日  
電話番号 」

加える。

- 注 借受時以降に改姓した場合は、（ ）書きで旧姓を記載すること。

「住 所

別記第8号様式中 を

氏 名 ㊦」

「住 所 〒

氏 名 ㊦ に、  
生年月日 年 月 日  
電話番号 」

「 注 本人の申請が不可能な場合の申請者は、連帯保証人とする。 」を

「

- 注 1 本人の申請が不可能な場合の申請者は、連帯保証人とする。 に  
2 借受時以降に改姓した場合は、（ ）書きで旧姓を記載すること。 」  
改める。

#### 附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条中北海道立看護学院等看護職員課程修学資金貸付条例施行規則附則第5項の改正規定及び第2条中北海道看護職員養成修学資金貸付条例施行規則附則第3項の改定規定は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づいて作成されている用紙がある場合においては、この規則による改正後のそれぞれの規則の規定にかかわらず、当分の間、必要な調整をして使用することを妨げない。